

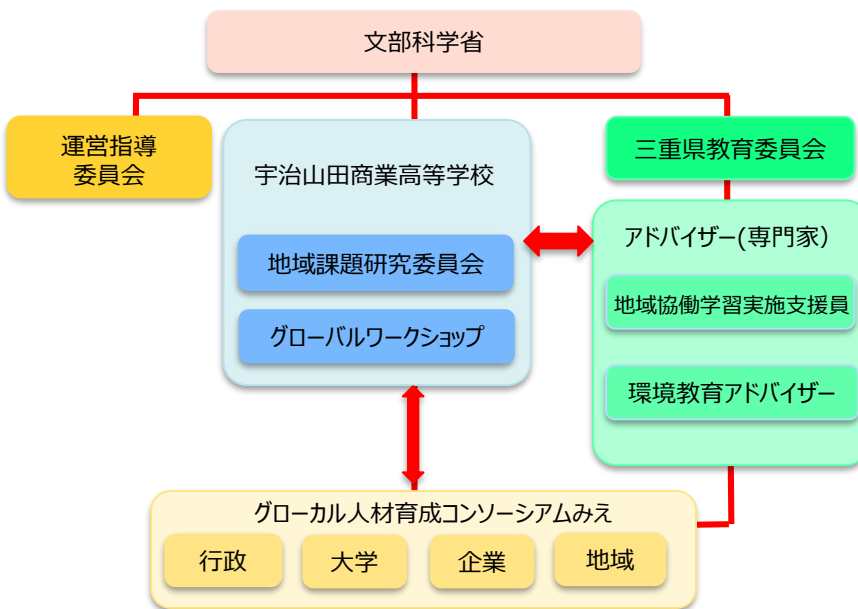
「観光都市with S D G s」～伊勢志摩！未来創造プロジェクト～

1 研究開発の背景

- 伊勢志摩地域においては、人口減少、少子高齢化が進展し、まちの活力が低下することを懸念している。
- そのような中、地域の強みである観光産業に力を入れることで地域産業が活性化され、雇用にも好影響が及ぶことを目指した取組を進めている。
- 本事業では、SDGsの視点を持って自然・歴史・食文化等の魅力あふれる伊勢志摩地域を持続可能な社会として未来につなげるとともに、観光資源豊かな伊勢志摩の魅力を広く国内外に発信したり、新しい観光ビジネスモデル等を創造する力を身に付け将来の伊勢志摩地域を担う「持続可能な未来を創造できるグローバルな視点を持った地域社会のリーダー」を育成するため、研究開発を行う。



2 地域協働体制



3 令和2年度の目標と取組状況

1 SDGs推進プログラム

【目標】課題解決力、論理的思考力、地域への貢献力、語学力の育成

- SDGs基礎プログラム
貧困の根絶（経済・社会開発）と持続可能な社会（環境）の両立等、すべての教科・科目の内容に沿ったテーマでSDGsに関連する授業を1回以上実施
- SDGs探究プログラム
科目「課題研究」で、SDGsに取り組む企業や自治体の視察、廃棄食材を使用した商品の開発、オンラインでSDGsの先進国であるスウェーデンの方とSDGsの事例について協議
- SDGs語学力向上プログラム
学校設定科目「グローバル・コミュニケーションA・B」において、SDGsの観点に基づいた授業を実施。終日英語のみで会話する学年別英語セミナーや、校内英語スピーチコンテストを開催

2 観光都市を描くプログラム

【目標】企画力、調整力、実践力、突破力、創造力の育成

- 伊勢志摩PRプログラム
 - 科目「ビジネス情報管理」で、海女をテーマにした伊勢志摩PR動画を作成し、「観光甲子園」に応募
 - 自治体や他県の高校生と、SDGsの理念に基づき自然資源を生かしたグリーンツーリズムを利用して地方創生を目指す取組についてオンラインで協議
 - 三重県の「みえグローバル学生大使」の委嘱を受け、SNSによる三重県の魅力紹介や、第9回太平洋・島サミット開催に向けて、島サミットのPRや日本文化の紹介をするなどのオンライン活動に参加
- 国際交流プログラム
 - オーストラリア姉妹校の生徒とオンラインによる交流を実施

4 令和2年度の成果と課題

1 SDGs推進プログラム

- 取組の視察や商品開発等、コンソーシアムや地域等と連携を深めた取組を実施できた。
- A i G R O Wを活用した測定により、7項目のうち6項目のコンピテンシーに有意性が見られた。課題のあった「個人的実行力」は次年度のプログラムに反映し改善を図る。
- 次年度以降、SDGsを核としたカリキュラム・マネジメントについて協議し、全教科・科目の連携を図りながら、体系的にSDGsの知識を育成する必要がある。

2 観光都市を描くプログラム

- 視察やオンラインを活用して、グリーンツーリズムなどをテーマとした探究的な学びを自治体や企業等と連携を深めて実施できた。
- みえグローバル学生大使として、第9回太平洋・島サミット開催に向けた活動（島サミットのPR、三重の情報発信等）を通じて、観光産業に関わる活動を実施できた。
- 本年度新設した課題研究「観光とビジネス」において、伊勢志摩地域をさらに活性化する取組を行う必要がある。